

「ハートの森」を育てます。

ボランティア活動へと導く、地域への想い、
思いやる想い、優しい想い、ささえ合いの想い…
一人ひとりの様々な想い(ハート)の「木」が、「林」になり、
やがて「ハートの森」になっていきます。
「全国ボランティアフェスティバルにいがた」は、
今、そしてこれからの社会に必要な「ハートの木」を
1本、1本と増やし「ハートの森」を育てます。

第17回 全国ボランティアフェスティバル にいがた

会期/平成20年9月20日(土)・21日(日) メイン会場/朱鷺メッセ

主催/第17回全国ボランティアフェスティバル推進協議会・第17回全国ボランティアフェスティバルにいがた実行委員会
後援(予定)/厚生労働省、文部科学省、「広がれボランティアの輪」連絡会議

■お問い合わせ:第17回全国ボランティアフェスティバルにいがた実行委員会事務局 TEL025-281-5805 FAX025-281-5806 E-mail:vf@fukushinigiata.or.jp

詳しくは専用ホームページをご覧ください。

<http://www.vf-niigata.com/>

新潟県には、こんなにたくさんのボランティア活動があります。 一人ひとりの小さな木が、やがてそれが大きな森に育ちます。

●福祉

高齢者の見守り活動
高齢者の介護・介助
給食サービス
福祉機器の制作
高齢者の住宅環境整備
手話・音訳サービス
障害者芸術支援
手作り品の展示販売
障害者の外出介助
障害者スポーツ支援
パソコン操作・習得
障害者就労支援
盲導犬の普及 他

●教育・スポーツ・子ども

自然体験教室
スポーツ指導者派遣
障害者のスポーツ振興
不登校の子ども教育
子育て、子ども文化支援
伝統の工作や遊び指導
絵本・紙芝居読み語り
交通安全教育
少年野球の技術向上
オモチャ病院
料理教室 他

●地域・街づくり・文化

災害、被災支援
震災復興支援
救急・救命支援
祭り、イベント支援
芸術文化の街づくり
地理、歴史、観光ガイド
克雪、利雪による街づくり
街の桜保全
雪おろし
史跡、文化財の保護・活用
地域文化の振興
民謡・舞踊の保護・育成 他

●自然環境

自然・文化遺産の保全
里山の保護・育成
美しい河川・海浜づくり
公園の美化・維持管理
自然体験教室
リサイクル啓発
農文化の伝承・体験
植樹
希少淡水魚の保護
トキ放鳥支援 他

●国際交流・協力

通訳・翻訳
医療保険活動
難民救援
外国子ども支援
日本語学習支援
衣料支援
ホームステイ
ホストファミリー 他

少子高齢化や人口減少、社会の成熟化により、社会的課題が多様化・高度化する中で、地域の課題を自らの問題として主体的に取り組むボランティア活動への期待が高まっています。その活動分野は、福祉、環境、教育、まちづくり、国際交流など、身近な活動から国際的な活動まで様々に広がっています。

ボランティア活動は、決して特定の人だけが行うものではなく、子ども、学生も、社会人も、シニア世代も、誰もが、地域社会の一員であることを自覚し、一人ひとりが主体的に社会のこれからを思い行動することが必要です。それが、共につくる心豊かな社会につながるのではないのでしょうか。

「全国ボランティアフェスティバルにいがた」は、新潟県におけるボランティア活動の裾野拡大に寄与するよう啓発活動を進めていきます。

第17回 全国ボランティアフェスティバルにいがた

開催趣旨

新潟県では、平成16年10月の中越地震を契機に、多くのボランティア活動に触れ、被災地住民と支援者との交流による生活再建と、新たな地域社会づくりに向けた取り組みが進んでいます。

そこで、災害の経験の中から、「ひとりじゃない」との想いを起点に、新たな地域の絆を結び始めた新潟で、日常的なボランティア・市民活動のあり方を幅広く考えます。

また、新潟県内にボランティア意識の波紋を大きく広げ、県民一人ひとりが想いを抱き、行動するための取り組みを行います。

基本理念

“あいさつし、知り合うことからはじまる地域の絆を”

一人ひとりがお互いを気遣い合い、誰もが「大丈夫?」「ちょっとお願い!」…「ありがとう」と言い合える、その想いが形になって響き合う、そんな社会を創りませんか。

誰もが地域社会の一員であることを自覚し、社会のこれからを思い行動する。その私たちの行動が地域の絆を深め、共につくる心豊かな社会への道を拓くのではないのでしょうか。

災害から、支え合うことの尊さをあらためて学んだ、「にいがた」からの発信です。